

関係者各位

2025 年 7 月 9 日

アセットマネジメント One 株式会社

アセマネ One、本邦初となる 「暗号資産関連市場」にフォーカスした投資信託の 新規設定に伴うイベントを開催

アセットマネジメント One 株式会社(東京都千代田区、取締役社長 杉原 規之、以下「アセットマネジメント One」)は、2025 年 7 月 8 日に販売会社向けに、新規ファンド「暗号資産関連株式ファンド(愛称:シークレット・コード)」のお披露目イベントを開催いたしました。イベントでは、当該ファンドの概要や運用方針についてご紹介した他、コインチェック株式会社 代表取締役 会長執行役員の蓮尾聡さまより、暗号資産市場の現状と今後の展望についてご講演いただく等、暗号資産市場をめぐる投資機会についてご紹介いたしました。

当日は多くの販売会社の皆さまにご参加いただき、参加者の皆さまからは多くの質問や意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



暗号資産市場の急速な発展に伴い、関連企業の成長も著しいものがあります。2025 年 7 月 31 日に設定する「暗号資産関連株式ファンド(愛称:シークレット・コード)」は、こうした投資機会を捉えることで、投資家の皆さまに新たな資産運用の選択肢を提供いたします。

アセットマネジメント One は「投資の力で未来をはぐくむ」資産運用会社として、今後も革新的な商品の提供を通じて、投資家の皆さまの資産形成をサポートしてまいります。

【ファンドの概要】

ファンド名	暗号資産関連株式ファンド(愛称:シークレット・コード)
当初申込期間	2025 年 7 月 16 日～2025 年 7 月 30 日
当初設定日	2025 年 7 月 31 日
投資対象	主として、世界の金融商品取引所(わが国および新興国を含みます。)に上場する株式(上場予定を含みます。)*の中から、暗号資産に関連するビジネスを行う企業へ実質的に投資を行います。 *DR(預託証券)もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。

【ご参考:暗号資産に関連するビジネスについて】

暗号資産は技術の進展により、投資、決済、金融サービスなど多様な分野で利用が拡大しています。今後、さらなる関連技術の進展と規制の整備により信頼性が高まることで、より多くの企業や個人が暗号資産関連のサービスを利用するようになると考えられます。当ファンドでは、暗号資産に関連するビジネスを行う企業へ実質的に投資を行います。

主な暗号資産関連ビジネスの例

 交換所 暗号資産を売買したり、法定通貨と交換ができるサービスを提供。	 マイニング(採掘)* 高性能なコンピュータを使い、暗号資産のマイニング(採掘)を提供。 *暗号資産の取引のデータを検証し、新しい暗号資産を生成するプロセスのことを指します。	 証券取引所 暗号資産そのものではなく、それに連動する金融商品の取引、インデックス提供や上場支援を行う。
 受託業務 暗号資産を安全に保管・管理する機能を持つソフトウェアウォレットやハードウェアウォレットを提供。	 資産運用会社 伝統的資産(株式、債券など)と同様に、暗号資産を組み入れた投資信託などの金融商品を提供。	 決済・送金 暗号資産で支払いや送金、また、暗号資産を法定通貨に換算して決済できるシステムや、新興国における国際送金のインフラを提供。

※上記は、現時点で想定する暗号資産関連ビジネスの例について記載しており、すべてを網羅するものではありません。

お客さまにご負担いただく手数料等について

【ご購入時】

購入時手数料:購入価額に 3.3%(税抜 3.0%)を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額。

【ご換金時】

換金時手数料:ありません。

信託財産留保額:換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.1%の率を乗じて得た額。

【保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)]

運用管理費用(信託報酬):ファンドの日々の純資産総額に対して、年率 2.013%(税抜 1.83%)。

その他の費用・手数料:組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。

その他の費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【ファンドの投資リスク】

リスクの詳細については投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

株価変動リスク 為替変動リスク 流動性リスク 信用リスク カントリーリスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に実質的に投資しますので、株式市場と暗号資産市場の変動、為替相場の変動、組入有価証券の市場に十分な需要や供給がないため取引を行えなくなること、発行者にかかる信用状況の変化、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等により、組み入れた有価証券等の価格が下落し、基準価額が下落する要因となります。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

※当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が作成したものです。当資料における内容は作成時点(2025 年 7 月 9 日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は、

- 1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- 2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメント One は、2016 年 10 月に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高(※)は、約 69 兆円と国内有数の規模を誇ります。アセットマネジメント One がこれまで培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、「投資の力で未来をはぐくむ」をコーポレート・メッセージに掲げる資産運用会社として、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略 等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

※運用資産残高は 2025 年 3 月末時点。

公式 HP <https://www.am-one.co.jp/>

商 号 等／ アセットマネジメント One 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 324 号

加入協会／ 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会